

鐵と鋼 第四年 第參號 大正七年三月

目次

日本製鐵事業の將來に於ける二大問題 今泉嘉一郎 二〇七頁

本邦産鐵鑛の焙燒及還元に関する實驗 杉本正邦 二二六
廣瀬政次 二二六
守屋慶一 二二六

拔萃

アルミニウム合金に就て 二四六
炭素鋼の調質に就て(承前) 二六八

雜錄

二八〇
◎戰後に於ける英國鐵貿易◎英國と其他諸國に於ける製鋼業の比較◎船體使用鋼材の節約◎戰時に於けるルキセンベルヒ公國の製鐵業の狀況◎獨逸に於ける鐵鋼使用の制限◎獨逸對和蘭造船所關係◎印度に於ける銑鐵分配取締◎ブリネル式硬度試驗に就て◎北米合衆國に於ける滿俺鋼の產出及其の輸出高◎英國に於ける熔鐵爐用媒劑としての石灰石に就て◎ラドラム式電氣熔鐵爐に就て◎獨逸に於ける鐵及鋼に関する近況◎白耳義國に於ける鐵鋼工場の破滅◎南亞弗利加に於ける鐵鋼業◎蘇格蘭屑鐵商協會◎製鐵所長官故押川則吉君の葬儀

統計

商況

日本鐵鋼協會記事

内外雜誌主要題目

大正七年三月廿三日印刷
大正七年三月廿五日發行
(定價金五拾錢)

編輯 東京市京橋區月島通十丁目六番地 落合 敏三 郎
發行人 東京市神田區美土代町二丁目一番地 連太 郎
印刷 東京市神田區美土代町二丁目一番地 連太 郎
發行所 東京市芝區烏森町四番地 舍
日本鐵鋼協會
電話新橋三四三九番
振替貯金口座東京一九三番